

現地実習 I

森林作業の安全管理、森林調査（人工林）

日時：平成21年10月10日（土） 10:00～15:00

講師：安全管理士、センター職員・海上の森の会

概況



午前(講義)

① 人工林の施業

- ・人工林とは、人為による植栽林(スギ、ヒノキ 等)
- ・森林施業とは、造林、下刈、除伐、枝打、間伐、主伐

② 人工林の間伐の考え方

- ・目的

林業面(通直で完満な丸太で年輪幅が小さく均等で偏芯していない良質の木材の生産)

環境面(森林内の光条件の改善、下層植生を豊かに)

- ・方法

林分密度管理図を用いた管理(間伐回数、間伐本数の決定)

③ 広葉樹林の手入れ

- ・目的に応じた手入れが必要

基本的には、手入れがされないと森林内が暗くなり地表の植生が貧弱になっている。これを、除伐等行い明るい森林へ誘導。あとは、利用目的に応じた管理をしていく。

午後(現地実習)

○ 人工林(ヒノキ)の間伐のための調査と伐採木の選木

①3班に別れ、現地で10m×10mのプロット内の調査(樹高、胸高直径、曲がり、傷、被圧木、枯損など)し、野帳に記入

②林分密度管理図により間伐本数の決定

③間伐木の選定とマーキング